

すぎの子通信

古川東町カトリック保育園 令和4年6月号

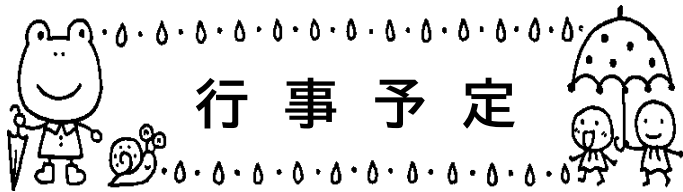


今月の目標『すすんでお手伝いをしようとする心を育みましょう』

あつという間に春が過ぎ、梅雨の訪れを感じる季節となりました。梅雨のうっとうしさとなかなか治まらないコロナ。増々気分が晴れない日々が続いておりますが、改めまして、一部休園中にご協力を頂きありがとうございました。保護者の皆様の心情を考える度に心苦しさを感じておりました。通常に戻った際に「先生方も大変でしたね。お疲れさまでした。」と労いの言葉掛けていただき、心が救われた思いでした。保護者の皆様のお心遣いに心から感謝申し上げます。

さて、今月の目標は「すすんでお手伝いをしようとする心」を育む月です。幼い子ども達は、大人に頼まれた手伝いを最後までやり遂げようと、一生懸命頑張ります。でも、決して段取り良く上手く出来ません。当然、時間もかかります。何故なら経験がないからです。いろいろな術(すべ)を知っている大人が“何でこんなことも出来ないの!?”“面倒くさいなあ、もういいから!”と言って止めさせてしまう事はないでしょうか。「ありがとう」「助かったよ」と感謝の言葉を掛ける余裕もありません。これでは、子どもは自信さえも失ってしまいます。また、お手伝いには失敗が付きものです。失敗から何故上手く出来なかったのだろう…次はこうしてみようと自ら課題を見つけ、学び、考え、判断することが出来るようになります。0,1歳児は、遊びの中で手伝いを覚え、2歳以降は経験を重ねることで学んでいきます。手伝いを頼んだ大人は最後まで見守ってあげる責任が伴いますから、心に余裕を持って関わる事が大切だと思います。初めは、頼まれて行っていた手伝いが、後々、当たり前のこととして日常で生きてくるということを忘れないようにしたいものです。

◀ 園長 山田 紅美子 ▶



行事予定

- 3日(金) 静修の日(3, 4, 5歳)
 - 10日(金) 防災訓練
 - 20日(月)~23日(木) こねこ組(3歳児)保育参観
 - 21日(火)~24日(金) うさぎ組(4歳児)
ひつじ組(5歳児)保育参観
 - 21日(木) サッカー教室(4・5歳児)
 - 24日(金) 誕生会 30日(木) 内科健診
- ※避難訓練 ※休まないようにしてください

保護者面談のお知らせ

コロナ禍となってから、保育参観をはじめ行事もままならない状況となっており、保護者の皆様にお子さんの様子を十分にお伝え出来ない状態となっております。

そこで、今年度の保護者面談は、全園児の保護者の皆様と面談の場を設けたいと思います。尚、年間行事予定に記載していた予定とは異なる日程となりますので、詳細は、クラス毎に後日配布致します。(6月はありません)



くみ園長の『これいいかも!!』

怒りの法則~実践(実験?)編~

子どもが巣立った我が家での対象は働き盛りも後半となった男子。「よし!怒りのピークは6秒、6秒と…」「1, 2, 3, …6」深呼吸を一つ。どうやら諦めが肝心な時もあるみたいです。(笑) 皆さんの自宅は、いかがでしょうか。

衣替えの季節です

朝晩は涼しくて、日中が蒸し暑かったり、急に気温が下がったりと一日の中で気温の変化が激しい時期です。半袖、長袖、カーディガンや薄手の羽織るものなど調節しやすい衣類のご用意をお願いします。

小さい頃から寒暖差に合わせて着替え、肌で気温を感じるようにすると神経が発達し、4, 5歳くらいになると自分で暑い、寒いを感じて着替えるようになっていくようです。寒暖差に合わせた衣類で過ごしましょう。



クラスのねらい・家庭連絡

簡単な手伝いを通して
やりとりを楽しむ

ばんび組（0歳児）

●落ち着いた好きな遊びを楽しむ

◎子ども達は“いたずら”が大好きです。いたずら中は脳が急速に発達しているそうです。

今、何を学んでいるんだろうと観察しながら、いたずらが遊びとして楽しめる環境を作っていきます！



ひよこ組（1歳児）

●梅雨時期を健康で快適に過ごす

◎汗をかいたら着替えたり、水分補給をし、快適に過ごせるようにしましょう。

◎遊んだ後の片付けを一緒にするなど簡単な手伝いができるようにしてきましょう。



ことり組（2歳児）

●生き物や植物に興味を持つ

◎戸外で遊ぶ際、咲いている草花に目を向けたり、生き物に触れてみようとする子ども達の興味を大切にしていきたいと思います。



周囲に目を向け
手伝いを楽しんで行う

こねこ組（3歳児）

●自分の気持ちを言葉で伝えようとする

◎お父さんと今日の出来事を話し合ったり、嬉しい、悲しいなどの感情を言葉にして共感してあげ、自分の気持ちを言葉で伝えられるようにしていきましょう。



うさぎ組（4歳児）

●梅雨期ならではの活動や自然に興味や親しみを持つ

◎お父さんの話に耳を傾け、興味を持ったことを一緒に調べたり、お父さんの気持ちに共感していきましょう。



ひつじ組（5歳児）

●梅雨時期の自然の変化に気付き、生活や遊びに取り入れる

◎気温や気候に応じて衣服の調節や汗の始末を自ら気付いて行えるように知らせていきましょう。

◎梅雨の事象の不思議さや面白さに気付けよう一緒に散歩をしたり、調べてみましょう。



年長クラスの保護者から

東町カトリック保育園にお世話になって18年。長いようであつという間の園生活も今年度でいよいよ最後となってしまいました。子育てで大変なこと、悩みは数えきれないほどたくさんあり、今もつきることはありませんが、その中でも子ども達の成長を少しでも感じることができると、これからも頑張ろうと思える活力源になっています。先日、兄弟が泣いている姿を見て〇〇もぼろぼろと涙を流し始めました。「どうしたの？」と聞くと「先生が言ってたよ。誰かが泣いちゃうと周りのみんなも悲しくなるって。だから誰も泣かないでほしい」と言っていました。こんなことが言えるようになり、周りの人の気持ちも考えられることができるようになったんだなあーとすごく成長を感じました。どんなに小さな成長も親として嬉しくて、子育ての励みにもなり、その成長の支えとなっている保育園の環境や先生、お友達の出会いに本当に感謝しています。コロナ禍で制限がまだまだ続く中、できるだけ思いっきり楽しんで園生活を送ってもらえたらいいなと心から思いますので、保育園最後の日までお願いします。

< 〇〇〇くんのお母さん >



〇〇は、3歳の時、こねこ組に入園しました。転園ということもあり、慣れるまで時間が掛かるのではないかと心配しておりましたが、すぐに慣れ、嫌がることなく、登園してくれました。家では、それほど食べる印象が無い湊斗ですが、保育園では、良くお食事でおかわりしてたくさん食べると聞き、大変驚きました。おいしい給食をいつも用意して頂き、本当にありがとうございます。

虫も苦手と触れなかった〇〇ですが、今では虫が好きになり、家で飼っているカブトムシのお世話も自らするようになり、登園の準備もひとりでできるようになったのもいつも支えて下さる先生方やお友達のおかげだと思っております。

これから卒園までの保育園生活、何かとご迷惑をお掛けすると思いますが、よろしくお願い致します。

< 〇〇〇くんの保護者の方 >

